

活動の概要

城南中学校区の特徴は保幼小中の連携が強いことです。校区の学校園所の先生がつなぎ役となって地域の人や行政と一緒にさまざまな取組みを展開しています。その取組みはハートフルタウンプロジェクトと名付けられ、地域の“文化祭”とも言えるスマイルフェスタ、公園の遊具のペンキ塗り等を行うアートフルタウンプロジェクト、地域での落ち葉やごみを拾う活動であるクリーンキャンペーンなどを行っています。このような連携は20年前から始まっており、週一回の小中連携会議、月一回の保幼小中連携会議を行うことにより、校区全体で子どもたちの育ちについて話し合っています。長年にわたる連携により、校園間どうしの信頼関係ができており、どの保護者も安心して子育てができるような環境をつくっています。

校種をこえた地域の見守り

子どもたちの発達段階に応じた成長を支援するためには、校区全体で地域の課題を知る必要があります。この認識を校区内の保・幼・小・中すべての校種が共有したうえで、学校・家庭・地域が連携したさまざまな取組みを進めている。「0～15歳」までの子どもたちの成長に地域全体でかわかり、大人も一緒に楽しみながら地域活動に取り組んでいる。

ここがポイント①

校区の子どもは校区全体で育てる中学生が地域の保育所で保育実習に取組んだり、地域のお店で店の人と一緒に働くといった取組み等を通じて、校区の一人ひとりの子どもの成長を校区全体で支えるよう取り組んでいる

子どもどうしのつながり

校種をこえた子どもたちどうしの交流が盛んにおこなわれており、中学3年生が小学校のプールに出向いて小学1年生に水泳指導を行ったり、中学校の体育祭に、幼稚園・保育所の子どもたちと小学1年生が、中学3年生と一緒にプログラムに参加することにより、地域で学年をこえた子どもどうしのつながり（異学年交流）ができている。

ここがポイント②

学校行事を交流の場に普段は経験しにくい異学年との交流を、学校行事に組み込むことで、すべての生徒が異年齢の子どもたちと関わる経験ができている

子どもが参画するまちづくり

11年間続いているスマイルフェスタは毎年3,000人近い人が集まり、まちづくりにつながる地域の一大イベントである。現在、中学1年生の生徒は「中1支援隊」というスタッフとして参加している。展示会場の入場者を増やすため、来場者には模擬店での割引をするといった子どもたちのアイデアをイベントに取り入れている。こうした取組みを通じて、子どもたちがまちづくりに参画する機運が生まれ、子どもたちと地域の人とのつながりがより強まっている。

ここがポイント③

子どもの発想を活かす子どもならではの自由な発想やアイデアを地域行事に取込むことにより、子どもが自分に自信を持つとともに、子どもが主人公のまちづくりにつながっている

J地教協ニュースNo.37

高槻市城南町2丁目30番1号
高槻市立城南中学校内
平成24(2012)年12月20日発行
Tel. 072(673)4491
Fax. 072(673)4492

第12回城南中学校区

ウキウキドキドキ スマイルフェスタ

参加者数 3,000名!!



開会の挨拶をする
会長

校区最大のイベント「ウキウキドキドキスマイルフェスタ」が10月20日(土)に城南中学校で開催されました。3年ぶりの晴天で、屋外で開催することができ、たくさんの地域の方が来ていただきました。「やっぱりグランドでする方が気持ちがいいですね。」という声をたくさん聞きました。

今年はテントやパネル、グランドなどの片付けがありました。参加者や中1支援隊、各学校の先生たちが協力してあっという間に終わりました。日頃の城南中学校区の地域の強い連携によるものだと改めて感じました。ご協力ありがとうございました。

地域の大人と若松小・西大冠小の児童会、城南中学校の生徒会、有志の子どもたちが企画運営を考えるフェスタ企画会議も今年で4年目になりました。人権まちづくり協会の西田睦史さんをコーディネーターとして、中学生が中心になり、展示ではクイズラリーやアンケートの作成、模擬店の配置や会場図の作成、ステージのプログラムのめくりや宣伝の仕方などを考えました。また、今年度は広報活動に重点を置き、たくさんの地域の方に来ていただくためにチラシをつくり、各家庭に配布しました。フェスタ当日にはステージの司会の手伝いやクイズの出題なども行い、フェスタを盛り上げてくれました。



企画会議のようす

来年度 第13回ウキウキドキドキスマイルフェスタの開催は

平成25(2013)年11月2日(土) 12:00~15:00 です

来年度もさらにより良い形で、地域の子どもや大人が企画運営に参加できることをめざしていきたいと思えます。また、午前中は例年通り、地域公開研究授業を行います。

第12回ウキウキドキドキスマイルフェスタのようす



オープニングは西大冠幼稚園の子どもたちでした。



3校の教職員や城南中PTAが受付を担当しました。



地域のたくさんの方が城南中のグランドに集まりました。

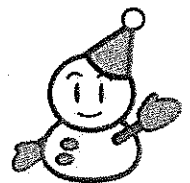
ステージ



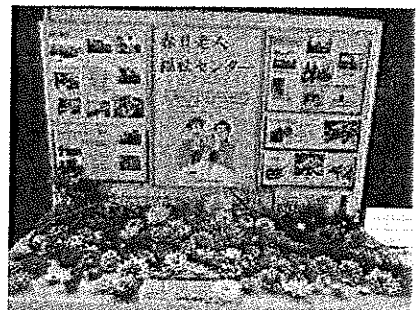
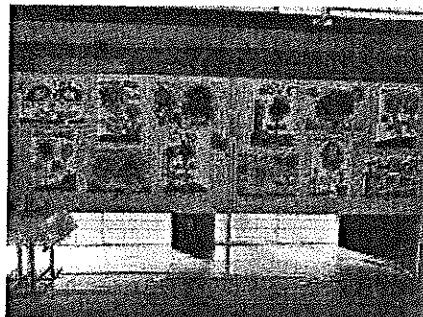
今年も14の個人・団体の出演がありました。初参加の城南宙保育園の子どもたちはソーラン節を踊ってくれました。「日本1位・世界3位」の実力のけん玉パフォーマンスには、会場から大きな拍手がありました。



展示



今年も14の個人や団体の方が出展してくださいました。企画会議で考えたクイズラリーが好評で、たくさんの方が見に来てくださいました。



模擬店



16の個人・団体が出店しました。3年ぶりの運動場の開催で、ステージの音楽なども聞きながらできて一体感がありました。多くの店で商品が完売するなど盛況に終わることができました。



中1支援隊

中1支援隊も完全に定着し、地域の大人の方と子どもたちの協働の姿が当たり前になりました。よく働いてくれると評判もよく、大きな自信と達成感につながりました。

